

平成 29 年度決算に係る

定期監査調書

平成 30 年 6 月

鳥取県立博物館



1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	2 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	決算調書（総括表）	17 頁
8	事業別実施状況調べ	17 頁
9	予備費の充用調べ	17 頁
10	繰越関係調べ	17 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	17 頁
12	収入事務処理状況調べ	17 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	20 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	20 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	20 頁
16	債務負担行為の状況調べ	21 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	22 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	25 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	25 頁
19	財産に関する調べ	26 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	

	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ .....	28 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が 100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ .....	31 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ .....	31 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	寄附物件の受納状況調べ .....	32 頁
24	備品の処分状況調べ .....	33 頁
25	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ .....	33 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
26	貸付金等状況調べ .....	33 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
27	博物館運営 .....	34 頁
28	博物館資料保有状況 .....	48 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項  
該当なし
- (2) 監査意見  
該当なし
- (3) 決算審査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>【文書指摘】</p> <p>8 県立美術館整備に伴う市道の取扱いについて</p> <p>改めて言うまでもなく、県立美術館は、より多くの県民の理解を得て、期待に応えられる美術館として開館すべきです。そのために教育委員会主催で、平成27年度から28年度にかけて、県立美術館整備基本構想の検討と平行して、桂見地区住民への説明会を含め、延べ45回に上る出前説明会や県下3箇所での県民フォーラムなどが開催され、県民への周知が図られています。</p> <p>しかしながら、美術館予定地であった県立少年自然の家跡地までの取りつけ道路として鳥取市が整備した市道の取扱いについて、いまだ県教育委員会と鳥取市との話し合いの機会が設けられていません。</p> <p>平成29年3月23日に鳥取市議会全員協議会において、教育長が県立美術館の凍結から現在までの経緯と美術館整備基本構想について説明されているものの、鳥取市の理解を得られる段階に至っておりません。</p> <p>市道の問題を解決するため、教育委員会だけでなく、知事部局と共に、早急に鳥取市との協議の場を設けるべきであります。</p>	<p>旧県立鳥取少年自然の家跡地（鳥取市桂見）に県立美術館を建設する計画の廃止に係る経緯等については、平成29年3月の鳥取市議会全員協議会における説明のほか、文化団体や桂見地区の方々にも説明をさせていただき、平成29年7月には市民向けの説明会を開催した。</p> <p>鳥取市が整備を行った市道に関しても、なお、課題が残っていると認識しており、知事部局とも連携し、課題解決に向け、できるだけ早い段階に鳥取市と協議の場を設けることができるよう取り組んでいく。</p>

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
総務課	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の施設の管理に関すること</li> <li>・博物館協議会に関すること</li> <li>・予算、決算、その他の庶務に関すること</li> </ul>
美術館整備準備室	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館整備に関すること</li> </ul>
学芸課	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然担当</li> <li>人文担当</li> <li>普及担当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館資料（美術関係の資料を除く）に係る資料の収集、保管、展示、利用、普及及び調査研究に関すること</li> <li>・博物館改修に関すること</li> </ul>
美術振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査担当</li> <li>美術担当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術関係の資料の収集、保管、展示、利用、普及及び調査研究に関すること</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	
定 員	9	8	18	18	0	0	27	26	
現 員	(1) 10	( ) 9	( ) 16	( ) 17	( ) 0	( ) 0	(1) 26	( ) 26	・育児休業:事務職員1名 ・技術職員(学芸員)△1
過不足(△)	1	1	△2	△1	0	0	△1	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	4	4	47	44	3	2	54	50	<博物館> ・事務4名(一般事務2名、事務補助1名、複写機オペレーター1名) ・技術47名(史料補修専門員3名、古文書整理専門員1名、資料管理専門員1名、昆虫標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員35名) ・現業(警備員3名)

5 役付職員の調べ

(平成30年6月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
館長	田中 規靖	1	2	教育委員会 理事監
副館長兼学芸課長	上山 憲二	0	2	
副館長兼美術振興課長	尾崎 信一郎	9	5	継続勤務期間12年5月
総務課長	藤原 浩	0	2	出納員
美術館整備準備室長	漆原 芳彦	1	2	継続勤務期間2年11月
総務課課長補佐	岩尾 聖	1	2	
総務課課長補佐	奥田 克浩	2	2	
主幹学芸員	川上 靖	7	2	継続勤務期間18年2月
主幹学芸員	福代 宏	4	2	継続勤務期間25年2月
主幹学芸員	清末 幸久	5	2	
主幹学芸員	三浦 努	6	2	継続勤務期間16年2月

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
企画展開催費	86,987		9,725	77,262
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

鳥取県に関わりのある自然、歴史・民俗、美術並びに国内外の博学・美術の魅力を広く県民に紹介する企画展を開催した。

【日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展】

○当該企画展に係る決算(見込)額

予算額	決算(見込)額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
15,855	15,855	1,683	14,172

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・鳥取県の民芸の振興に寄与するなど、本県とゆかりの深いイギリスの陶芸家バーナード・リーチの生誕130年の記念すべき年に、東洋や西洋の焼きものから影響を受けたさまざまなタイプのリーチ作品を紹介し、その芸術活動を振り返る。
- ・リーチは本県だけでなく島根県とも関係が深いうえ、全国的にも人気の高い陶芸家であるため、より広範囲の地域からの入館者増進を図る。

(イ) 事業の実施状況

- ・日本最大のリーチ・コレクションを誇る日本民藝館所蔵品の中から、リーチの最初期から晩年までの陶磁器を中心に約200点の作品や資料を一堂に紹介し、日本人に愛された英国人バーナード・リーチの芸術活動を振り返った。
- ・全国巡回展である本展のコーディネートをNHKプロモーションがおこなったことから、NHK鳥取放送局も主催者に加わり、日曜美術館リーチ特集の鳥取・島根での再放送や中国5県向けラジオでのPR、夕方のニュース特番の制作など、広報活動を積極的に行った。
- ・当館での開催に併せ、近隣の鳥取市歴史博物館や鳥取民藝美術館、仁風閣等でも連携プログラム「民工芸に魅せられて ～春！鳥取まちなかミュージアムめぐり」を開催し、各館でも民工芸に関する展覧会が実施された。

会期	入館者数	目標
平成29年4月15日(土)～6月4日(日) [51日間(会期中無休)]	6,037人	9,900人

※うち有料入館者数：2,844人(入館者数の47%)

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	144	33	17	46	0	240
割合[%]	60	13.8	7.1	19.2	0	100

< 関連事業参加者数 >

内 容	参加者数
スペシャルギャラリートーク「リーチ作品の魅力を語る」(陶芸家・山本教行氏)	118人
特別講演会「リーチの生涯と芸術」(美術史家・鈴木禎宏氏)	115人
リーチほか座談会記録DVD上映会(5/6、27)	142人
ギャラリートーク(4/28、29、5/12、20、26、6/3)	130人

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 広報面での効果を高め、入館者増につなげるため、本展の構想段階でNHKプロモーションに声をかけて全国巡回展化することで、NHK鳥取放送局を主催者に加え、広報活動に注力できる組織づくりを行った。

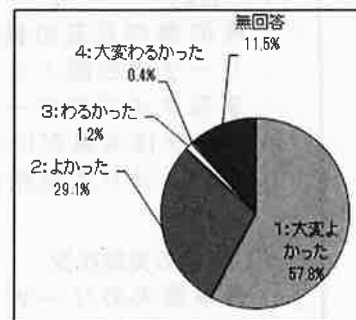
ウ 成果及び効果

- ・ 入館者からは、大作も小品もバランスよく展示され、間近で見られて焼物の質感や色も分かりやすく、見応えがあり楽しめたと評価する意見が多く聞かれた。
- ・ NHK鳥取放送局による各種関連番組の取り組みも話題を呼んだ。
- ・ 入館者目標の9,900人に対し、実績は約6,000人と60%であった。

< 入館者の満足度等 > アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・ とても見ごたえがありました。様々な陶器があり、模様や大きさもそれぞれ個性があり、絵を描く時の参考になりました。
- ・ 裸展示であったので、真近で見れ、焼物の質や色がわかり、良かったです。



エ 課題

- ・ 県外(とくにリーチとゆかりのある島根県)からの入館を期待していたが、それほど数字は伸びなかった。県外に向けた告知方法として、より適切なものがなかったか検討する必要がある。
- ・ 入館者数目標は達成できなかった。入館者の約8割が40歳以上で大学生等の若い世代は少なかった。落ち着いた印象のポスターデザインであったため、若い世代には訴求しなかった可能性がある。また、小中学生の団体入館がほぼゼロであったことも響いている。あまり入館しない層に訴求するための告知方法について、さらに検討する必要がある。



【つばさの博覧会 —巨大翼竜からペンギンまで—】

○当該企画展に係る決算（見込）額

予 算 額	決算（見込）額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
26,010	26,010	2,964	23,046

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ 空を飛ぶ能力を獲得した昆虫、翼竜、鳥、コウモリの4グループについて、「つばさ」の特徴や体の構造等を解説する。各動物が進化の中で獲得した「空を飛ぶための工夫」や、鳥類については羽毛の進化と多様な機能についても紹介し、これらの動物たちが示す多様性の奥深さや進化の面白さを伝える。
- ・ 地域との関わりとして、青谷上寺地遺跡から出土した鳥骨製骨角器を展示・紹介するとともに、日本野鳥の会鳥取県支部や米子水鳥公園、鳥取大学等による、鳥取県における鳥類の調査研究・保護活動とその実績を紹介する。

(イ) 事業の実施状況

- ・ 史上最大の飛翔動物ケツアルコアトルスの精密復元模型をはじめ、3億年前のトンボ類実物化石、美しい冠羽をそなえるオウギバト剥製など、つばさや羽毛の多様な形態・機能、および進化の様子を示す約250点の資料を紹介した。

会 期	入館者数	目標
平成29年7月15日（土）～8月27日（日） [44日間（会期中無休）]	12,518人	8,000人

※うち有料入館者数：4,305人（入館者数の34%）

<入館者の地域別割合> アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	116	18	6	80	12	232
割合[%]	50.0	7.8	2.6	34.5	5.2	100

<関連事業参加者数>

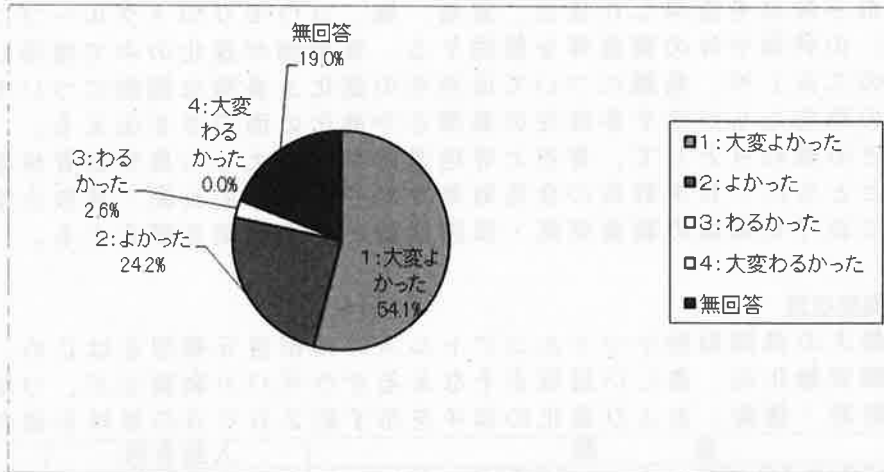
内 容	参加者数
自然講座「さわってみよう！ 鳥のホネ」	16人
サイエンスレクチャー「遺跡の鳥のサイエンス ～鳥取市・青谷上寺地遺跡の骨からペルー・ナスカの地上絵まで～」	約70人
ワークショップ「“浮かぶつばさ”をつくろう！」	46人
ギャラリートーク（7/16、8/13）	計88人

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 広報面での効果を高めるため、SNSの積極的な活用に取り組んだ。とくに、資料借用先の博物館等に対して、来場者が資料を撮影してSNS上で公開する可能性について事前に了解を得ておき、来場者に対しては積極的な“拡散”を呼び掛けた。
- ・ 鳥類のつばさの空力学的特性を体感できる「まほうのうちわ」をはじめ、体験型資料を複数設置した。あわせて「ふわふわ鳥をとばそう」「紙ヒコーキ★コンテスト」など、小さい子供でも保護者と一緒に自らの手で作り、楽しめるコーナーを設け幅広い年代の来場者が楽しみながら学べる工夫をした。

## ウ 成果及び効果

- ・当館外部の個人によるフェイスブックやInstagram等で、当企画展が話題となっている事例が確認され、またそれを見て来場した、と思われる来場者の例もあった。
- ・アンケート回答者においては県外からの来場者が3割以上とかなり多く、幅広い地域への広報効果がうかがえた。
- ・入館者アンケートでは「写真撮影OKでよかった」「うちわがおもしろかった」「体験コーナーを子供が楽しんでいた」「つばさのことがよくわかった」「幅広い種類の鳥が展示されていて勉強になった」などの肯定的な声が多く寄せられた。
- ・入館者アンケートでの満足度調査では、「大変よかった」「よかった」の合計が8割近くに達し、満足度が高かったことが示された。



- ・入館者数は目標値を大きく上回った。

## エ 課題

- ・アンケート回答者では県中西部の割合が非常に少なかった。これらの地域に向けた広報について検討する必要がある。

【鳥取入府400年池田光政展～殿、国替えにござります～】

○当該企画展に係る決算（見込）額

予算額	決算（見込）額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
14,913	14,913	1,337	13,576

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

2017年（平成29）は、播州姫路42万石の城主池田光政（1609～82年）が国替えによって、因幡・伯耆の2国を合わせた32万石の藩主となった1617年（元和3）から400年に当たる。約100点余りの歴史資料を通じて、現在の鳥取藩（県）の骨格を作ったともいべき池田光政の足跡を紹介した

(イ) 事業の実施状況

岡山県立博物館との3カ年にわたる文化交流事業の締めくくりとして、岡山県内の文化施設からの協力を得て、県内初出品や、国重要文化財など、約100点余りの歴史資料を展示した。

会 期	入館者数	目標
平成29年10月7日（土）～11月12日（日） [36日間（10月23日（月））]	4,005人	3,500人

※うち有料入館者数：2,396人（入館者数の60%）

<入館者の地域別割合> アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	102	17	11	31	1	162
割合[%]	63.0	10.5	6.8	19.2	0.6	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
歴史講座「池田光政という人物」	90人
歴史講座「池田光政の足跡をたずねて①」	雨天中止
歴史講座「姫路・鳥取・岡山 ～大名池田家のつながりとひろがり～」	69人
歴史講座「池田光政の足跡をたずねて②」	69人
歴史講座「鳥取城で鷹狩り！～諏訪流放鷹術の実演」	211人
ギャラリートーク	93人

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・マスコットキャラクター みつまさくんの制作と活用（①～④）
  - ① みつまさくんの缶バッジを製作し、前売り券購入者に特典として配布した。
  - ② 高校生以下のクイズ（後述）解答者への賞品としてみつまさくん缶バッジを配布した。
  - ③ 写真撮影用に等身大のみつまさくんパネルを設置した。
  - ④ みつまさく人を、展示解説パネルに登場させ、展示品の解説に使用した。
- ・屋外の階段に戦国武将風の広報用のぼり旗を設置した。
- ・体験コーナー用として、アプリ「鳥取こちずぶらり」や古絵図レプリカを設置した。
- ・高校生以下向けのクイズ、および解説資料を作成し、配布した。
- ・ミュージアムショップで、国替えの由緒がある和菓子屋の商品を販売した。
- ・岡山県立博物館との交流事業として双方のショップで図録等を販売した。

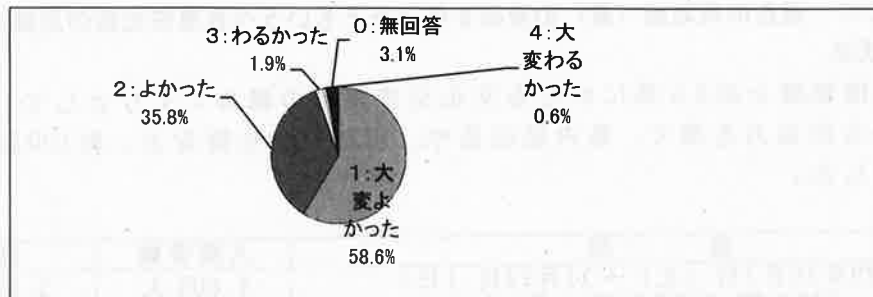
## ウ 成果及び効果

- ・報道機関（テレビ局）との実行委員会形式による企画展で、数多くのTVスポットなどによる広報効果もあり、目標以上の来館者数を達成できた。
- ・岡山県以外では初公開となる池田忠継座像など貴重な資料の展示ができた。
- ・関連行事をほぼ毎週行い、池田家の歴史や人物への関心を高めることができた。
- ・展示品が新発見の資料として、山陽新聞の11月7日朝刊社会面に紹介された。
- ・池田光政と関係が深い岡山・兵庫からの関心も高く来館者が比較的多かった。

### (3) 結果・反響（来館者アンケートから：回答数162人）

#### ① 展覧会満足度

- ・「大変よかった」「よかった」とする意見が合わせて94.4%、なかでも「大変よかった」が58%で、好評であった。



#### ② 感想（主なもの）

- ・今までよく知らなかった池田光政が今の鳥取の基礎を築いていたことがよく分かった。
- ・クイズを出していたので子ども向けもあるね。今と昔の地図・クイズが印象に残った。
- ・国替えが大名側の希望の反映というのが目新しかった。最後のところで古地図と現在の地形との比較ができ、鳥取城下の整備も分かった。
- ・説明文が分かりやすく、光政のキャラクターでの案内もとても良かったです。池田光政という人物自体知らなかったですが、鳥取のここまで影響のある人だと知れて勉強になりました。
- ・「殿、国替えにございます」がかなりツボです。

## エ 課題

- ・実行委員会方式による一定の広報効果はあったが、イベントに関しては役割分担が不明確な点もあり、改善を行う必要がある。

【フジフィルム・フォトコレクション展】

○当該企画展に係る決算（見込）額

予 算 額	決算（見込）額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
10,899	10,899	835	10,064

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・塩谷定好や植田正治等の優れた写真家を輩出している鳥取県において、近代以降の日本の写真史と写真界の発展の軌跡を辿る入門的な展示を行うことで、写真表現に対するより一層の普及啓発をはかる。
- ・併せて、鳥取県出身の塩谷定好、植田正治、田淵行雄、岩宮武二、杵島隆の作品も展示し彼らの表現の特質を日本の写真史全体から俯瞰する機会とする。

(イ) 事業の実施状況

- ・富士フィルム株式会社が所蔵する、日本を代表する101人の写真家が撮影した日本の写真史を語る上で欠かせない選りすぐりの1枚を集めたコレクション(計101点)を紹介した。写真を取り上げた企画展としては11年ぶりの開催となった。
- ・とくに広報面での効果を高めるため、博物館と地元テレビ局(TSK)とで実行委員会を組織して運営を行った。
- ・実行委員会方式での実施に伴い、通常の企画展では無料となっている70歳以上および大学生を有料化した。(観覧料:一般800円、前売り・団体・70歳以上・大学生500円)

会 期	入館者数	目標
平成29年11月23日(木・祝)～12月24日(日) [28日間(毎週月曜日休館)]	2,961人	4,000人

※うち有料入館者数:1,559人(入館者数の53%)

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
スペシャルギャラリートーク(富士フィルム宣伝部山本佳之氏)	62人
特別講演会「絵になった写真、写真になった絵」	47人
アートシアター「ヴィヴィアン・マイヤーを探して」	111人
担当学芸員のギャラリートーク(会期中に1回実施)	37人

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・広報面での効果を高め、来場者増につなげるため、地元テレビ局(TSK)と実行委員会を組織して運営を行った。

ウ 成果及び効果

- ・来場者からは、日本の著名な写真家たちの作品が展示されたことを高く評価する意見が多く聞かれた。よって、来場者の写真表現に対する視野を広げることには貢献できたと考える。
- ・マスコミとの実行委員会方式をとったことにより、CMや情報番組での生中継など、テレビ媒体を通じた広報が大々的に実施できた他、博物館、テレビ局それぞれのホームページで積極的な広報を行ったことにより、写真関係者、写真愛好家など通常の絵画展とは異なる層の人々が来場した。
- ・入館者目標の4,000人に対し、実績は約3,000人と75%であった。

エ 課 題

- ・入館者数目標は達成できなかった。その理由としては、写真に関心のある層以外の来場者を確保できなかったことが大きいと考える。また、通常の企画展では無料としている70歳以上および大学生を有料化したことがどのように影響しているかについても分析する必要がある。
- ・上記を踏まえ、その分野への関心が少ない人を取り込む方策、料金設定の再検討、新聞紙上での告知にも配慮すること等に取り組む必要があると考える。

【モダンアート再訪ーダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展】

○当該企画展に係る決算（見込）額

予 算 額	決算（見込）額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
19,310	19,310	1,936	17,374

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

近現代美術の優品を所蔵する福岡市美術館のコレクションの中から選りすぐりの76点を紹介することを通じて、20世紀における「モダンアート」という営みを再確認し、その成果を検証する。

(イ) 事業の実施状況

- ・現在リニューアル工事により休館中の福岡市美術館の16,000点に及ぶコレクションのなかから、主に第二次大戦後から2000年代までのヨーロッパ、アメリカ、日本の近現代美術の名品76点をテーマに基づき6章にわけて紹介した。
- ・福岡市美術館及び4つの展覧会の巡回館の共同企画として実施し、図録・キャプション類も共同で製作した。
- ・ギャラリートーク、アートセミナー、特別講演会等の関連企画を全7事業実施し、様々な切り口で作品や展覧会へのアプローチする機会を提供した。

会 期	入館者数	目標
平成30年2月3日（土）～3月18日（日） [43日間（2月26日休館）]	5,693人	7,000人

※うち有料入館者数：2,428人（入館者数の43%）

<入館者の地域別割合> アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	742	100	77	126	3	1,048
割合[%]	70.8	9.5	7.3	12	0.3	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
特別講演会Ⅰ「福岡から再訪するモダンアート」	52人
アーティストトーク「自作を語る」	48人
担当学芸員によるギャラリートーク（2回）	67人
アートセミナー「モダンアートとその外部」	30人
アートセミナー「社会とアートと近代（モダン）について」	12人
特別講演会Ⅱ「描かれた身体：自分のからだ、他者のからだ」	34人

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・コレクションの単なる通史的、地誌的紹介にとどまらず、作品どうしの共通点や関連性により章立てして作品を紹介することで、新たな視点からの再検証を試みた。
- ・美術館連絡協議会のネットワークにより、全国4会場を巡回する展覧会となったが、読売新聞地方版への特集記事の連載に加えて、NHKへの出演や、テレビCMの集中的な投下、新聞広告の回数の増加になど戦略的な広報活動を行った。
- ・多数の多彩な関連事業の開催に加え、普及用セルフガイドマップを作成し、展覧会や作品への理解を促進した。

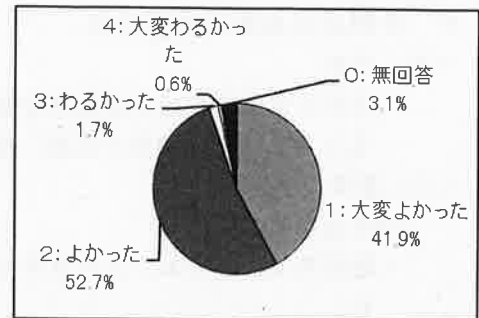
## ウ 成果及び効果

- ・ダリ、ミロ、ウォーホル、草間彌生、藤田嗣治、横尾忠則といった著名な作家による集客が多かったが、九州派や具体美術協会、2000年以降の作品など、一般的にはあまり知られていない作家や作品もあわせて紹介することで、来場者の興味の幅を広げることができた。
- ・「モダンアート」という内容と、その雰囲気伝えるポスター、チラシ等広報物のデザインから、通常の展覧会よりも若い世代が多く来場した。口コミでの来場者が多かった。
- ・入館者目標の7,000人に対し、実績は約5,700人と80%であった。

### <入館者の満足度等>

#### ○アンケート回答より

- ・大変よかった、よかった、とする意見が合わせて94.6%と好評であった。



#### ○感想（主なもの）

- ・実物を見たことがなかった作品を実在に目で見ることができ、ポスターや本で見た時とは全く違った印象を受け、感動した。
- ・間近で鑑賞することができ、とても贅沢なことでした。子ども達と感じたことを小声で話しながら見ましたら、子どもの想像力の豊かさに驚きの連続でした。よっぽど私よりも色々なことを感じ取っていて、とても楽しい一時になりました。
- ・普段は気にしない日常の風景も良く見れば芸術になる事に感動した。
- ・理解が難しいモダンアートですが、章ごとに時代の区切りや作品の特徴が説明されていて、とても分かりやすかった。作品はそれぞれに不思議さや意味深さがあり、そこが面白く感じました。

## エ 課題

- ・関連事業への参加人数が思ったより伸びなかった。SNSのさらなる活用や別刷りのチラシなど広報の工夫をする必要があるように思われる。
- ・近隣の学校は授業の一環として来場があったが、距離の離れた学校からの反応があまりなかった。一方学校から、今まではなかった「対話型鑑賞」への要望が数件寄せられた。ギャラリートークへの対応等、学校へのPRをより戦略的に行うことで、来場の機会が増える可能性が考えられる。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
博物館普及事業費	9,090			9,090
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ 県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

(イ) 事業の実施状況

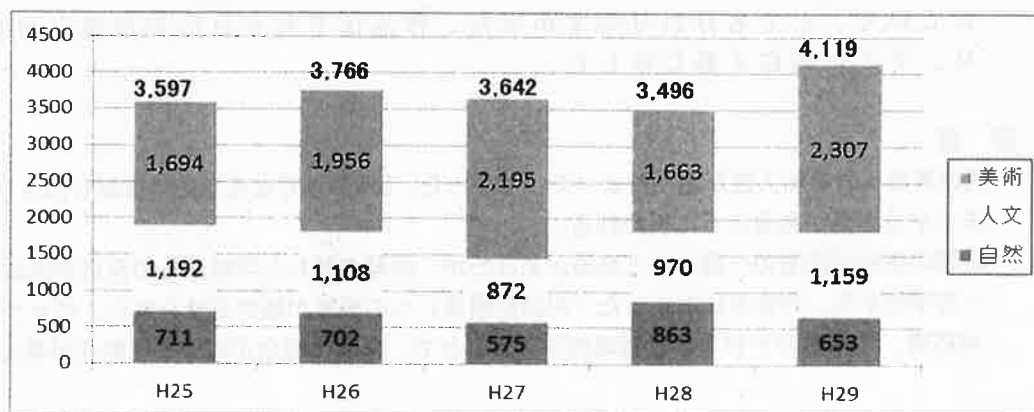
○生涯学習支援

- ・ 館内外で、サイエンスレクチャー等の各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。

普及講座の実績

(単位：回数=回、参加者=人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H25	17	711	28	1,192	50	1,694	95	3,597
H26	17	702	32	1,108	50	1,956	99	3,766
H27	18	575	30	872	50	2,195	98	3,642
H28	20	863	32	970	53	1,663	105	3,496
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119



- ・ 館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館の実績

(単位：回数=回、入場者=人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H25	4	632	4	1,783	1	1,209	9	3,624
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29※	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174

※移動博物館を希望する学校や公民館等開催からH29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。



- ・中高生を対象に、優れた学問上の研究業績に触れる機会を創出するため、県外及び県内の著名な科学者による講演会「サイエンスレクチャー」を開催した。

#### ○学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や学習資源を学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供するため、「教員のための博物館の日」を開催した。
- ・「教員のための博物館の日」の第1回の開催はH26年度で59名の参加者は休暇扱いで参加していた。H27年から県教育センターの講座として出張扱いでの参加が可能になり、H27には90名と参加者が急増。その後H28年61名、H29年64名と推移している。

#### ○情報発信

- ・ホームページをとりネット（鳥取県版CMS）に切り替えて読み上げソフト等に対応させた。
- ・生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報を発信した。
- ・研究報告、普及誌等の印刷物を発行した。

#### イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・前年度の参加者数やアンケートの結果等を踏まえ、より満足度の高い普及プログラムを編成した。
- ・「きのこを調べる会」（自然）・「伯耆往来を歩く」（人文）・「市内アート探検」（美術）など、地域素材を活かしたプログラムを実施した。
- ・企画展関連普及プログラムだけでなく、幼児向け・青少年向け・教員向け等、ターゲットを絞った講座を設定した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・移動博物館を自然・人文共同開催とし、従来の公民館等の開催希望による開催から当館が選定する会場での開催に変更した。
- ・全ての講座で、教育目的であれば先生方の見学を可能とした。
- ・教員のための博物館の日では、講演と公開ワークショップ、展示解説を中心にした構成とした。また、県教育センター連携講座とするなかでも事前に当事業へ期待している点を聞き取り、きめ細かい対応に心がけた。
- ・ホームページ、チラシ、ポスターなどを積極的に活用した広報を展開した。
- ・メディアへ積極的な情報提供を行った。

#### ウ 成果及び効果

- ・普及講座のうち美術講座が昨年の1,663名であったものが2,307名と大きく向上した。講座の実施回数増加と「毎週土曜日はアートの日」などの定着によると考えられる。
- ・教職員を対象にした学芸員派遣が数を伸ばした。
- ・報道への積極的な情報提供により、県民が博物館に関わる機会が増加した。

#### エ 課題

- ・SNSによる情報発信に多くの館職員が関わっていくしくみ作りが必要である。
- ・普及講座のなかで一般参加者の充足を損なわず就学前の子どもをどのように取り込むか、または、講座の編成を作るのか、ニーズの低年齢化と併せて必要である。
- ・「教員のための博物館の日」は学校の夏季休業中の平日に開催している。開催に当たっては県教育センターと調整し対外行事や研修との重複の少ない日を選んでいますが、さらに参加しやすくするために複数回開催が望まれる。
- ・現在の博物館利用の現状から、障がいのある方向けの講座などの普及プログラムの開発が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県立美術館整備推進事業	27,428			27,428
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・平成29年3月に策定した基本構想に基づき美術館整備を進めるため、美術館に必要な機能、施設整備、事業運営について具体化する基本計画を策定するとともに、整備・運営手法については県の優先的検討方針に基づく第二次検討としてPFI手法導入可能性調査を実施する。
- ・また、地域に根差し県民の支持と参画と運営される「私たちの県民立美術館」とするため、啓発活動を展開する。

(イ) 事業の実施状況

○鳥取県美術館整備基本計画の策定

- ・先進美術館関係者や県内美術関係者等で構成するアドバイザー委員会を設置し、美術館の特色と機能について専門的な知見に基づく助言をいただきながら具体的な事項について検討した。
- ・検討にあたっては、県内文化団体等との意見交換会やパブリックコメントの実施等により広く県民の意見を伺う機会を設け、県議会の意見等を踏まえ、整備・運営手法以外についての考え方を整理し、平成30年3月に中間まとめとして策定した。

- ・アドバイザー委員会の開催 3回 …平成29年8月4日(現地視察含む)ほか
- ・文化団体や地域団体等との意見交換会 14団体 …鳥取県美術家協会(H29.8.24)ほか
- ・出前説明会等 9回 …倉吉文化団体協議会文化サロン(H29.4.9)ほか
- ・基本計画(中間まとめ素案)のパブリックコメント 101件・34名 …募集H30.2.23~3.13

〈鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会委員〉9名

氏名	役職等	分野等
林田 英樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長	全般・座長
水沢 勉	神奈川県立近代美術館長、鳥取県立博物館美術品収集評価委員	美術
加藤 哲英	鳥取県美術家協会長	文化活動
池本 喜巳	写真家	文化活動
五島 朋子	鳥取大学地域学部教授(附属芸術文化センター)	文化活動
稲庭 彩和子	東京都美術館 アート・コミュニケーション係長、学芸員	教育普及
塚田 美樹	世田谷美術館 学芸部企画担当主査、学芸員	教育普及
高増 佳子	米子工業高等専門学校准教授	建築
吉村 寿博	吉村寿博建築設計事務所代表	建築

○PFI手法導入可能性調査の実施

- ・「鳥取県PPP/PFI手法活用の優先的検討方針」に基づく第二次検討として、専門のコンサルタント会社に委託し、PFI手法導入可能性の評価、民間参画意向調査、課題整理等を行った。
- ・その結果、PFI手法を導入して民間事業者のノウハウと創意工夫を取り入れることで、利用者の増と財政負担の縮減が同時に訴求できる効果が認められ、民間事業者の参画意欲も有るとの報告があった。  
⇒結果等も踏まえ、「県有施設・資産有効活用戦略会議」において美術館の整備・運営手法が決定され、基本計画の最終とりまとめはこの決定を踏まえて行うことを予定している。

○「私たちの県民立美術館」啓発事業の実施

- ・県立美術館の開館に向けて、美術の新しいファンをつくとともに美術館を支えてくださる県民を増やすため、機運醸成を図る普及啓発等を行った。

- ・ミュージアムサロン(文化関係者等とのディスカッション) 2回(参加者計24名)・・・平成30年3月30日ほか
- ・美術館フォーラム「みんなで考える 私たちの県民立美術館」1回(250人)・・・平成30年2月6日
- ・スペシャルアートレクチャー 2回(参加者計80名)・・・平成29年10月28日ほか
- ・コレクション宅配便 7回(参加者計510名)・・・イオン鳥取駅南店(H29.8.29)ほか  
※商業施設や学校等での県立博物館の美術コレクションの展示・解説等を行う。
- ・アートの種まきプロジェクト(美術館づくりワークショップ) 1回(26人)・・・平成30年3月11日

○鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画の策定

- ・県内どこにいても美術館のサービスが享受できる環境をつくり、また「とっとりのアート」の県外への発信力を強化するため、県内の美術館や博物館等で構成する「鳥取県ミュージアム・ネットワーク」内に、美術館等協力連携計画検討委員会を設け、美術系文化施設との協力連携の取組計画を平成30年3月に策定した。

- ・準備会の開催1回・・・H29.6.29
- ・計画検討委員会の開催4回・・・H29.8.31ほか

〈美術館等連携計画検討委員会委員〉8名

田中 規靖(鳥取県立博物館長)	杉本 裕史(北栄みらい伝承館(北栄歴史民俗資料館)館長)
木谷 清人(鳥取民藝美術館 常務理事)	中村 智至(米子市美術館長)
福田 裕充(渡辺美術館長)	勝部 武史(伯耆町立写真美術館(植田正治写真美術館)館長)
根鈴 輝雄(倉吉博物館長)	安達 才智(日南町美術館長)

○美術ラーニングセンター(仮称)機能の検討

- ・県立美術館の特色として、「美術を通じた学び」の支援を行う「美術ラーニングセンター」機能を設けるため、学校関係者を中心に「美術ラーニングセンター(仮称)検討委員」会を設け検討を進めた。

- ・検討委員会2回
- ・先進取組事例の調査 H30.1.15-16大分県教育委員会、大分県立美術館

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・これまでのオープンな美術館づくりを継承し、アドバイザリー委員会での検討はすべて公開し、委員会当日に資料をホームページに掲載するなどした。
- ・当事業の予算が議決された際の附帯意見も踏まえながら検討を進めた。

ウ 成果及び効果

- ・県立美術館の整備を契機として、中部地域の官民49団体で組織される「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」が発足するなど、県民の主体的な参画・協力を得て美術館整備を進める意識が醸成されつつある。

エ 課題

- ・県内どこでも美術館サービスが享受できる環境を視野に入れた検討、県内市町村、県民への周知を行っていくことが必要である。
- ・美術館の特色である「美術ラーニングセンター」機能や、県内美術館等との連携による収蔵作品のアーカイブ化などによる美術館活動の効果を先行して波及させることが必要である。
- ・県立美術館を整備・運営に向けて、地元市町村・関係団体等との積極的な連携・協力を図っていくことが必要である。

<平成29年度研究成果>

【自然担当】

○鳥取県立博物館研究報告において、次の研究を出版・発表した。

「鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物（2014年～2017年）－鯨類、鰭脚類、ウミガメ類、その他特筆すべき海洋動物について－」

・鳥取県および近隣域の沿岸で漂着・混獲・迷入等があった大型海洋動物（鯨類、鰭脚類、ウミガメ類、特筆すべき魚類、ダイオウイカ）について、2014年から2017年の間で当館が確認した記録をとりまとめた。一部の記録については状況の詳細や学術的な意義について記述した。

【人文担当】

○鳥取県立博物館研究報告において、館蔵資料を用いた「一字一石塔（宝塔）の造立過程」、「鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家『御用日記』翻刻（その四）を報告した。

○平成16年からボランティア（県史編さん協力員）が解読を進めていた「家老日記」のテキスト全文を平成29年3月にデータベースで公開した。あわせて原本の画像も追加公開した。

【美術担当】

○鳥取県の民藝の振興にも寄与したイギリスの陶芸家バーナード・リーチの仕事の全体像を、日本民藝館が所蔵するリーチ作品を中心に研究し、その成果として企画展を開催すると同時に、鳥取県内の窯場や木工工房、寺院等におけるリーチの活動を調査し、その成果として、日本民藝協会機関誌『民藝』平成29年7月号（775号）「特集 バーナード・リーチと鳥取」誌上に、調査報告「鳥取におけるバーナード・リーチの活動」を発表した。

○福岡市美術館が所蔵する近現代美術作品をもとに、ヨーロッパとアメリカ、日本のモダンアートに見られる諸相について研究し、その成果として企画展「モダンアート再訪 ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展」を開催した。同展は当館が立ち上げ、入館者や関係者から高い評価を得た。今後は埼玉、広島、横須賀にも巡回する。

7 決算調書

一般会計  
別途提出

8 事業別実施状況調べ

別途提出

9 予備費の充用調べ

別途提出

10 繰越関係調べ

別途提出

11 収入証紙取扱額調べ

該当なし

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
教育使用料	博物館 使用料		351	7,436,044	6,466,808	0	969,236	鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例	3/5、 3/6 納入
	計(節)		351	7,436,044	6,466,808	0	969,236		
目 計			351	7,436,044	6,466,808	0	969,236		
行政財産 使用料	行政財産 使用料	職員駐車場	14	41,412	41,412	0	0	鳥取県教育財産事務取扱要領	
目 計			14	41,412	41,412	0	0		
合 計			365	7,477,456	6,508,220	0	969,236		

(3) 手数料

該当なし



## (6) 諸収入

(単位:円)

収 入 科 目			件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	根拠法令名等	備 考
目	節	細節							
雑入	雑入	鳥取県立博物館事業協賛金	5	610,000	610,000	0	0		
		博物館カフェに係る電力・上下水道使用料	11	484,376	484,376	0	0		
		博物館振興会に係る電力料金等	2	116,482	116,482	0	0		
		公衆電話料金	10	2,060	2,060	0	0		
		コピー代	66	17,620	17,620	0	0	県立博物館資料等複写複製業務取扱要領	
		入館料余剰金	1	2,000	2,000				
		計(節)	95	1,232,538	1,232,538	0	0		
目 計			95	1,232,538	1,232,538	0	0		
合 計			95	1,232,538	1,232,538	0	0		

## (7) 現金の取扱状況

## ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収 入 済 額		備 考
教育使用料 博物館使用料	6,194,450	(293件)	博物館入館料
物品売払収入	154,280	(72件)	刊行物(図録)売払収入
雑入	21,680	(77件)	公衆電話使用料、コピー代、余剰金
合 計	6,370,410	(442件)	

## イ つり銭の状況

(平成30年2月28日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

13 税外収入未済額調べ

(単位:円)

収入科目 目	区分		過年度分					現年度分			収入未済額 計(A+B)	未収理由	
	節	細節	前年度 以前か からの繰 越額	左のうち 収入済 額	不 納 欠 損 額	収入 未 済 額 (A)	収入未済額の 調定年度内訳			収入済額			収入未済 額(B)
							26年度 以前	27年度	28年度				
教育使用 料	博物館 使用料		0	0	0	0	0	0	0	7,436,044	6,466,808	969,236	収入年月日 平成30年3月 5日、6日
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	7,436,044	6,466,808	969,236	
目 計			0	0	0	0	0	0	7,436,044	6,466,808	969,236		
合 計			0	0	0	0	0	0	7,436,044	6,466,808	969,236		

14 未収金回収促進のための取組状況調べ 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし



16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況		限産額	当該事業の 契約額等	設定年度 の執行額 A	執行(支出)状況				備考	
		期決 (補正・当初の別)	期間				債務負担行為の期間					合計 A+B
							28年度までの執 行額	29年度執行額	30年度以降の執 行予定額	計 B		
館内サーバー・資料DB公開 サーバー更新及び鳥取県情報 ハイウェイ接続	委託料、役 務費、使 用料及び賃 借料	平成26年3月 (当初)	平成27年度から 平成31年度まで	15,076,000	16,365,456	3,668,130	2,993,112	2,993,112	6,711,102	12,697,326	16,365,456	・館内サーバー・資料DB公開 サーバー ・DBバックアップNAS ・ハイウェイ接続インター フェース
県立博物館庭園管理業務	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成29年度まで	5,733,000	4,276,800	0	2,933,150	1,343,650	0	4,276,800	4,276,800	
県立博物館空調自動制御機 器保守業務ほか	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成29年度まで	10,857,000	9,861,480	0	6,574,320	3,287,160	0	9,861,480	9,861,480	・空調自動制御機器保守 ・電話保守 ・消防用設備保守 ・玄関自動扉保守
県立博物館機械整備業務	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成31年度まで	650,000	486,000	0	194,400	97,200	194,400	486,000	486,000	
県立博物館湖山倉庫火災警 備業務	委託料	平成26年12月 (補正)	平成27年度から 平成31年度まで	455,000	272,160	0	108,864	54,432	108,864	272,160	272,160	
県立博物館清掃業務	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成30年度まで	22,336,000	21,708,000	0	10,854,000	10,854,000	10,854,000	21,708,000	21,708,000	
県立博物館運転・監視 業務及び設備保全業務委託	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成32年度まで	32,697,000	31,881,600	0	7,970,400	23,911,200	23,911,200	31,881,600	31,881,600	
県立博物館エレベーター保 守業務ほか	委託料	平成28年11月 (補正)	平成29年度から 平成31年度まで	13,278,000	12,317,400	0	4,105,800	8,211,600	8,211,600	12,317,400	12,317,400	・エレベーター保守 ・冷水発生器保守 ・ばい煙測定 ・空気環境測定 ・受水槽・高圧水槽清掃
県立博物館庭園管理業務	委託料	平成29年11月 (補正)	平成30年度から 平成32年度まで	4,869,000	0	0	0	0	0	0	0	
県立博物館空調自動制御機 器保守業務ほか	委託料	平成29年11月 (補正)	平成30年度から 平成32年度まで	10,968,000	0	0	0	0	0	0	0	・空調自動制御機器保守 ・電話保守 ・消防用設備保守 ・玄関自動扉保守
平成29年度博物館企画展開 催経費	報酬、旅 費、委託料 等	平成28年3月 (当初)	平成29年度	88,000,000	0	0	0	0	0	0	0	・平成29年度博物館企画展 開催経費
平成30年度博物館企画展開 催経費	報酬、旅 費、委託料 等	平成29年3月 (当初)	平成30年度	88,000,000	0	0	0	0	0	0	0	・平成30年度博物館企画展 開催経費
合 計				282,919,000	97,168,896	3,668,130	12,803,846	30,705,754	49,991,166	93,500,766	97,168,896	

## 17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

## (1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等(規約、要綱等を含む。)	備考
博物館費	9,720,000	単県	企画展「生誕130年バーナード・リーチ展」鳥取展開催負担金	株式会社NHKプロモーション	定額	H29.7.11	9,720,000	企画展「生誕130年バーナード・リーチ展」鳥取展協定書	文書ID: 17-00005291
博物館費	18,800,000	単県	企画展「つばさの博覧会—巨大翼竜からペンギンまで—」開催負担金	株式会社読売新聞大阪本社	定額	H29.10.31	18,800,000	企画展「つばさの博覧会—巨大翼竜からペンギンまで—」協定書	文書ID: 17-00034192
博物館費	11,288,000	単県	企画展「鳥取入府400年 池田光政展 ~殿、国替えにござります~」開催負担金	「池田光政展」実行委員会	定額	H29.7.18	11,288,000	企画展「鳥取入府400年 池田光政展 ~殿、国替えにござります~」協定書	文書ID: 17-00083192
博物館費	10,000,000	単県	企画展「モダンアート再訪—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで福岡市美術館コレクション展」開催負担金	株式会社読売新聞東京本社事業局美術館連絡協議会	定額	H30.4.3	10,000,000	企画展「モダンアート再訪—ダリ、ウォーホルから草間彌生まで福岡市美術館コレクション展」協定書	文書ID: 17-00220788
博物館費	8,776,000	単県	企画展「富士フィルム・フォトコレクション展」開催負担金	「富士フォト展」実行委員会	定額	H29.8.8	8,776,000	企画展「富士フィルム・フォトコレクション展」協定書	文書ID: 17-00086737
新規以外のもの							104,000		
目計							58,688,000		
合計							58,688,000		

(2)補助金

予算科目(博物館費)

① 国 補 分  
該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考
				交付申請 年月日	完了年月日	検 査 年月日	概算 払精算 別の別	支出年月日	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日			
				鳥取県博物館振興会 補助金 (H19年度)	鳥取県立博物 館振興会		非常勤職員人件 費	—	H29.4.1
鳥取県立博物館振興 会の管理運営を支援 する。	(補助率:10/10)	H29.3.22						文書ID: 16- 00179415	
鳥取県ミュージアム・ ネットワーク補助金 (H29年度)	鳥取県ミュ ージアム・ネッ トワーク		アドバイザーへ の謝金等	—			概算	H29.6.20	1,757,000
加盟館の連携計画づ くり等、ネットワーク強 化の取組を支援す る。			(補助率:10/10)	H29.5.19					
			2,625,000	H29.4.1					
			2,266,500	H29.5.26					
単 県 分 計									
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の( )書きは補助金相当額である。								

(2-2)補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

(3)交付金

該当なし

## (4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国庫 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 (契約保証金納付等年 月日)			完了 年月日			支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間	(契約保証金納付等年 月日)	契約形態	年月日	年月日	支出 年月日	支出 年月日	支出 年月日	金額		
															変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	
博物館費	単県	県立博物館清掃 業務	光リフテック有限会 社	22,289,040	( H29.3.19 ) 21,708,000	H29.4.1 ~ H31.3.31	H29.3.15 ( 免除 )	H29.4.30 他	H29.4.30 他	H29.6.2 他	8,140,500	文書ID:17- 00039176 債務負担行為2年				
博物館費	単県	鳥取県立博物館 運転監視業務及 び設備保全業務 委託	鳥取ビルクリー ナー株式会社	32,697,000	( H29.4.1 ) 31,881,600	H29.4.1 ~ H33.3.31	H29.3.15 ( 免除 )	H29.4.30 他	H29.4.30 他	H29.6.2 他	6,642,000	文書ID:16- 00173909 債務負担行為4年				
博物館費	単県	鳥取県立博物館 館内サーバ・資料 DB公開サーバ更 新ソフトウェア導 入・保守業務	株式会社モリックス ジャパン	9,350,208	( H26.6.9 ) 9,269,208	H26.6.9 ~ H31.6.30	H26.6.6 ( 免除 )					文書ID:16- 00018074 債務負担行為5年 ソフトの著作権を所 有しているため				
博物館費	単県	県立博物館庭園 管理業務	株式会社田中造園 土木	5,674,320	( H27.3.13 ) 4,644,000	H27.4.1 ~ H30.3.31	H27.3.5 ( 免除 )	H29.7.7 他	H29.7.7 他	H29.7.24 他	1,138,536	文書ID:16- 00105260 債務負担行為3年				
博物館費	単県	鳥取県立博物館 資料DB/バックアッ プNAS等ハウジン グ業務	株式会社鳥取県情 報センター	5,700,660	( H26.6.13 ) 3,672,648	H26.6.13 ~ H31.6.30	H26.6.10 ( 免除 )	H29.4.30 他	H29.4.30 他	H29.6.2 他	577,260	文書ID:16- 00018176 債務負担行為5年 県庁クラウドサーバ の運用を行っている ため				
博物館費	単県	平成29年度県立 博物館企画展開 催に係る駐車場警 備業務	富士綜合警備保障 株式会社	3,859,920	( H29.4.1 ) 3,320,352	H29.4.15 ~ H30.3.18	H29.3.23 ( 免除 )	H29.4.30 他	H29.4.30 他	H29.6.2 他	2,968,704	文書ID:16- 00182355 債務負担行為2年				
博物館費	単県	県立博物館冷温 水発生機保守点 検業務	株式会社北陽エン 지니어・サービス	6,552,000	( H29.3.19 ) 5,961,600	H29.4.1 ~ H32.3.31	H29.3.15 ( 免除 )	H29.11.2	H29.11.2	H29.11.27	993,600	文書ID:16- 00172544 債務負担行為3年				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了			支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間	入札等 年月日 (契約保証締結等年 月日)	完了 年月日	支出 区分	支出 年月日	金額		
												変更契約(最終)	
博物館費	単 県	県立博物館工レ ベーター保守点検 業務	株式会社日立ビル システム	4,668,000	( H29.3.19 ) 4,665,600	H29.4.1 ~ H32.3.31	H29.3.15 ( 免除 ) 制限付	H29.4.25 他 H29.4.28 他	精	H29.5.26 他	1,296,000	文書ID:16- 00172346 債務負担行為3年	
博物館費	単 県	鳥取県立美術館 基本計画策定支 援及びPFI手法導 入可能性調査業	PwCアドバイザ リー合同会社	16,885,800	( H29.7.25 ) 16,885,800	H29.7.25 ~ H30.3.31	H29.7.19 ( 免除 ) 随					文書ID:17- 00095763 プロポーザル	
博物館費	単 県	県立博物館空調 自動制御機器保 守点検業務	日本電技株式会 社 鳥取営業所	8,203,680	( H27.3.18 ) 7,938,000	H27.4.1 ~ H30.3.31	H27.3.13 ( 免除 ) 制限付	H29.9.30 H29.10.10	精	H29.10.25	1,323,000	文書ID:16- 00029792 債務負担行為3年	
博物館費	単 県	鳥取県立博物館 ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物(特別管 理産業廃棄物)処 理業務	中間貯蔵・環境安 全事業株式会 社 北九州PCB処理事 業所	4,203,360	( H29.10.27 ) 4,203,360	H29.10.27 ~ H30.3.31	H29.10.13 ( 免除 ) 随					文書ID:17- 00171660 国の指定処理機関	
博物館費	単 県	平成29年度企画 展「モダンアート再 訪」会場設置等及 びディスプレイ製 作設置撤去業務	有限会社たかま工 芸	3,309,320	( H30.1.12 ) 3,099,600	H30.1.12 ~ H30.3.23	H30.1.10 ( 免除 ) 制限付					文書ID:17- 00232342	
予定価格が250万 円未満のもの											12,894,601		
目計											35,974,201		
合計											35,974,201		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又は令選を受けて執行したもの)  
該当なし

18 工事請負費調べ  
該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令選を受けて執行したもの)  
該当なし

19 財産に関する調べ  
 (1)公有財産  
 ア 土地

(平成30年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	鳥取県立博物館	鳥取市東町二丁目124番地	14,227.96	不明	増加	H		14,227.96		不明	
	博物館湖山倉庫	鳥取市湖山町南三丁目505の一部	3,260.40	不明	増加	H		3,260.40		不明	
計			17,488.36	0	減少	H		17,488.36		0	

イ 建物

(平成30年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	
行政財産	鳥取県立博物館	鳥取市東町二丁目124番地	9,699.18	726,927,000	増加	H		9,699.18		726,927,000	
	博物館湖山倉庫	鳥取市湖山町南三丁目848	488.80	15,739,470	増加	H		488.80		15,739,470	
計			10,187.98	742,666,470	減少	H		10,187.98		742,666,470	

- ウ 山林  
 該当なし
- エ 不動産売却  
 該当なし
- オ 財産の交換  
 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)  
 該当なし
- キ 物権  
 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)  
 該当なし
- ケ 有価証券  
 該当なし
- コ 出資による権利  
 該当なし

## (2) 金券類の受払状況

## ア 金券の受払状況

(平成30年2月28日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	円 13,154	円 44,313	円 47,554	円 9,913	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシー クーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリ ペードカード	0	0	0	0	
合 計	13,154	44,313	47,554	9,913	

## イ タクシーチケットの受払状況

(平成30年2月28日現在)

前年度末 未使用枚数	本 年 度 中		差 引	備 考
	購 入 枚 数	使 用 枚 数 及 び 金 額		
枚 42 (JCB:19枚) (ハイヤー組合:23枚)	枚 30 (JCB:-枚) (ハイヤー組合:30枚)	枚 50 (JCB:12枚) (ハイヤー組合:38枚) 円 173,980	枚 22 (JCB:7枚) (ハイヤー組合:15枚)	

## (3) 基金

(平成30年2月28日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
鳥取県美術品 取得基金	円 500,000,000	円	円	円 500,000,000	(H30.3月修復、H29年 度2月補正予算で買戻 し。) 修繕費 9,490千円 美術品 10点
合 計	500,000,000	0	0	500,000,000	

## (4) 債 権

該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	来館者のためのカフェ事業	鳥取市東町二丁目124番地	35.24㎡	H29.4.1	H23.6.28	H29.4.1 ~H30.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市行徳二丁目260 株式会社グラン・クリュ食 工房	文書ID: 17- 00015918	
	鳥取県立博物館振興会事業	鳥取市東町二丁目124番地	19.66㎡	H25.4.1	H19.3.30	H25.4.1 ~H30.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124 番地 鳥取県立博物館振興会	文書ID: 12- 00189193	
計								0			



(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
前田寛治「街の風景」	1	油彩・キャンバス	H29.2.2~ H29.4.15	月額 年額	0	高知市高須353-2 高知県立美術館長 藤田 直義	高知県立美術館	「日本におけるキュビズムピカソ・インパクト」展に出品のため	
辻晋堂「顔(寒拾)」	1	陶彫		月額 年額	0				
辻晋堂「人間」	1	陶彫		月額 年額	0				
前田寛治「物を喰う男」	1	油彩・キャンバス	H29.4.1~ H29.5.30	月額 年額	0	北海道函館市五稜郭町37-6 北海道立函館美術館長 堤 邦雄	北海道立函館美術館	「昭和の洋画を切り拓いた若き情熱展」に出品のため	※「オーヴェールの教会」は函館、酒田の出品
前田寛治「西洋婦人像」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「少女坐像(赤衣)」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「横臥裸婦」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「伏臥裸婦」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「棟梁の家族」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「赤い裸婦」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
前田寛治「籠の静物」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
佐伯祐三「オーヴェールの教会」※	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
里見勝蔵「マリヌスの記念」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
里見勝蔵「石膏のある静物」	1	油彩・キャンバス	月額 年額	0					
小島善太郎「青い帽子(テレサの像)」	1	油彩・キャンバス	H29.6.1~ H29.7.9	月額 年額	0	山形県酒田市飯森山3-17-95 酒田市美術館長 石川 好	酒田市美術館		
林武「顔」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
木下義謙「M氏の肖像」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
古賀春江「失題」	1	油彩・キャンバス	H29.7.11~ H29.9.10	月額 年額	0	福岡県北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町21 —1 北九州市立美術館長 西村 勇晴	北九州市立美術館分館		
伊原宇三郎「フランス・ノルマンディー・エトルタ」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
中山巖「椅子に寄る婦人」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
鈴木亜夫「花」	1	油彩・キャンバス	H29.9.11~ H29.11.10	月額 年額	0	東京都八王子市本町24-1 八王子市学園都市文化ふれあい財団 理事長 三浦 眞一	八王子市夢美術館		
鈴木千久馬「卓上静物」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
川島善三郎「鏡の前の裸婦」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
林武「裸婦」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
川口軌外「花」	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
須田国太郎 漁村田後	1	油彩・キャンバス		月額 年額	0				
佐伯祐三「オーヴェールの教会」	1	油彩・キャンバス	H29.8.1~ H29.10.15	月額 年額	0	北海道札幌市中央区北1条西17 北海道立近代美術館長 嵐田 昇	北海道立近代美術館	「ゴッホ展」に出品のため	
			H29.10.24~ H30.1.8	月額 年額	0	東京都台東区上野公園8-36 東京都美術館長 眞室 佳武	東京都美術館		
			H30.1.20~ H30.3.31	月額 年額	0	京都府京都市左京区岡崎門勝寺町 京都国立近代美術館長 柳原 正樹	京都国立近代美術館		
沖一峨「芙蓉に群鴨図」	2	絹本・着色	H30.2.20~ H30.5.25	月額 年額	0	東京都府中市浅間町1-3 府中市美術館長 戴野 健	府中市美術館	「リアル 最大の奇技」展 に出品のため	
根本幽蟻「内裏雛図」	1	絹本・着色	H30.2.20~ H30.3.23	月額 年額	0	八頭郡智頭町智頭396 (一般財団法人)因幡街道ふるさと振興 財団 代表理事 長石彰祐	石谷家住宅	「石谷家のお雛様展」に 出品のため	
合計					0				

21 借受不動産明細調べ  
該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ  
(1) 職員住宅  
該当なし

(2) 職員駐車場  
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市東町二丁目124	12.5	5,916

イ 異動状況  
(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人				
4月	1	人	人	人	人	人	人	円	減免理由: 身体的理由等により自家用車での通勤がやむを得ない場合に該当		
5月	1					1	1	2,958			
6月	1					1	1	2,958			
7月	1					1	1	2,958	減免率: 1/2		
8月	1					1	1	2,958			
9月	1					1	1	2,958			
10月	1					1	1	2,958			
11月	1					1	1	2,958			
12月	2		1			2	2	5,916			
1月	2					2	2	5,916			
2月	2					2	2	5,916			
3月	2	1	1			1	1				
合計								41,412		円	円
										41,412	0

## 23 寄附物件の受納状況調べ

(平成30年2月28日現在)

品名	規格・銘柄等	数量	見積金額	寄附申込年月日	寄附申込者	受納年月日	受納手の有無	備考
車いす	NEO-1 (ス テッカー・杖入れ 付) PNE01HB10-NH	1	円 60,000	H29.9.13	公益財団法人日本博物 館協会	H29.11.18	有	
車いす	NEO-1 (ス テッカー・杖入れ 付) PNE01HB10-NH	1	60,000	H29.9.13	公益財団法人日本博物 館協会	H29.11.18	有	
ブナ科植物	生体	1	50	H29.5.31	個人	H29.5.31	有	自然資料
軟体動物類化石	乾燥標本 (化石)	24	2,400	H29.6.10	個人	H29.6.10	有	自然資料
化石標本	乾燥標本 (化石)	約500	50,000	H29.10.17	個人	H29.10.17	有	自然資料
昆虫(蝶類)標本	乾燥標本	約1,000	10,000	H30.1.19	個人	H30.1.19	有	自然資料
馬山4号墳他採集埴輪片、土 器片		72	76,000	H29.4.29	個人	H29.4.29	有	考古資料
各地代表的玩具図譜(吉村 撫骨)		1	300,000	H29.5.19	個人	H29.5.25	有	歴史資料
大日本史抜鈔		2	1,000	H29.5.27	個人	H29.5.29	有	歴史資料
宮本家文書		206	6,200,000	H29.2.7	個人	H29.7.5	有	歴史資料
刀(銘兼先)		1	10,000	H29.6.23	個人	H29.8.21	有	歴史資料
廩米永世下賜候事		1	2,000	H29.10.22	個人	H29.11.17	有	歴史資料
祖師第一弟(代)記瑞		1	1,000	H29.10.22	個人	H29.11.17	有	歴史資料
森納氏収集鳥取藩の医学書 コレクション		819	819,000	H29.11.9	個人	H29.11.17	有	歴史資料
永井、大島家資料		55	29,500	H29.11.1	個人	H29.11.29	有	近現代資料
明治期の教科書		145	38,600	H29.11.20	個人	H29.11.29	有	近現代資
テラーなど		13	26,500	H29.8.25	鳥取県農業 試験場	H29.12.20	有	民俗資料
福本昭夫氏寄贈近現代資料		534	100,100	H29.12.10	個人	H29.12.21	有	近現代資料
岩成美千代氏寄贈近現代資 料		2,059	963,090	H29.12.21	個人	H29.12.9	有	近現代資料
寺社小絵馬		129	29,000	H30.1.25	個人	H30.1.25	有	民俗資料
合計		約 5,565	8,778,240					

※美術資料については寄附物件なし。

24 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格 円	不用決定年月 日	不用とする理由	処分			備考
							売却棄却の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	
A4ノート/パン コン	1	H21.6.1	10	84,315	2017/6/29	Jアラートの規格対象外(老朽化)	棄却	老朽化のため	H29.6.29	
iPad L ティーナ	2	H25.5.10	10	61,680	2017/6/13	バッテリー老朽化	棄却	老朽化のため	H29.6.13	
車椅子	1	S57.4.12	10	65,000	2017/11/22	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化により動作 しないため	H29.11.27	
車いす	1	H18.10.31	10	90,000	2017/11/22	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化により動作 しないため	H29.11.27	
合計	5			300,995						0

25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額 円	亡失、損傷年 月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
公用車	1	リース車両 (0)	-	-	発生日時は不明だが、平成29年11月7日にタイヤ ハウスに傷があることを発見したが、心当たりのあ る職員はおらず、原因不明。	H29.12.15	地自法第 243条の2に 該当しない
合計	2	(56,268)					

(平成30年2月28日現在)

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	個数
平成29年7月12日 ~	現物が確認できなかった物品名	
平成29年8月25日	有	無

26 貸付金等状況調べ  
該当なし

27 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会（昭和33年条例第16号設置）は、委員14人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全体会 平成29年4月28日、8月28日、12月7日

イ 入館料、使用料

入館料

(平成19年4月1日改訂)

区 分		金額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別展示に入館しない場合	同日中に博物館主催の特別展示に入館する場合	同日中に博物館主催以外の特別展示に入館する場合	
個人 1人1回につき	大学生以下	無料	無料	無料	展示に要する経費を勘案して教育委員会が別に定める額
	学校教育活動での引率者	無料	無料	無料	
	70歳以上	無料	無料	無料	
	障がいのある方・要介護者等及びその介護者	無料	無料	無料	
	一般人	180円	無料	90円	
団体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無料	無料	無料	
	学校教育活動での引率者	無料	無料	無料	
	70歳以上	無料	無料	無料	
	障がいのある方・要介護者等及びその介護者	無料	無料	無料	
	一般人	150円	無料	70円	

展示室等使用料

(平成27年4月1日改訂)

区 分	金 額	
第1展示室	1日につき 13,300円	半日につき 6,650円
第2展示室	13,300円	6,650円
第3展示室	10,380円	5,190円
講 堂	5,320円	2,660円
会 議 室	1時間につき 270円	

備考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し（実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等（実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2
身体障害者、知的障害者及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等（博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合）	・展示室 ・講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料（これに類するものを含む。）が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	・展示室	展示期間 の前後各 1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	・展示室 ・講 堂 ・会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事（学年（これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。）単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。）のために利用するとき	・展示室 ・講 堂 ・会議室 ・冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事（学年単位以上、学校の文化部が行う発表会等、対象団体が行う大会等） 【対象団体】（県内のものに限る） 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	・展示室 ・講 堂 ・会議室 ・冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日（9/12）には、展示室等使用料（とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限り。）についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室</li> <li>・講堂</li> <li>・会議室</li> <li>・冷暖房料</li> </ul>

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで  
 （教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで）

休館日 ・月曜日（その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限り。））  
 ・休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限り。）  
 ・12月29日から翌年の1月3日までの日



## (2) 利用状況

## ア 展示室等利用状況(日数)

(単位:日)

区分	常設展示室	第1展示室	第2展示室	第3展示室	講堂	会議室	合計
主催	330	184	133	126	30	31	834
その他	0	20	55	56	14	12	157
計	330	204	188	182	44	43	991

## イ 博物館利用者数

(単位:人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議室を除く)	合計
主催	33,764	31,214	1,639	661	597	2,179	70,054
その他	0	24,476	1,484	256	0	0	26,216
計	33,764	55,690	3,123	917	597	2,179	96,270

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館 日数	小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当たり の入館者数	
		個人		計	個人		計	個人		計	個人		計	個人		計		
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
4月	28	146	0	146	63	0	63	35	9	44	( 679 ) 1,012	( 46 ) 116	( 725 ) 1,128	( 679 ) 1,405	( 46 ) 125	( 725 ) 1,530	54	
5月	31	173	15	194	16	0	16	54	16	70	( 995 ) 1,481	( 110 ) 332	( 1,105 ) 1,813	( 995 ) 1,895	( 110 ) 371	( 1,105 ) 2,266	73	
6月	26	70	62	136	15	28	43	34	0	34	( 261 ) 542	( 1 ) 57	( 262 ) 599	( 261 ) 735	( 1 ) 147	( 262 ) 882	33	
7月	28	668	0	909	60	26	86	119	0	119	( 1,802 ) 2,176	( 34 ) 121	( 1,836 ) 2,297	( 1,802 ) 3,932	( 34 ) 147	( 1,836 ) 4,079	145	
8月	30	1,449	8	2,018	124	11	135	217	0	217	( 3,792 ) 4,242	( 0 ) 102	( 3,792 ) 4,344	( 3,792 ) 7,896	( 0 ) 267	( 3,792 ) 8,163	272	
9月	27	65	115	184	35	28	63	39	13	52	( 147 ) 747	( 60 ) 151	( 207 ) 898	( 147 ) 955	( 60 ) 307	( 207 ) 1,262	46	
10月	29	73	892	1,022	15	14	29	45	0	45	( 1,717 ) 2,046	( 136 ) 220	( 1,853 ) 2,266	( 1,717 ) 2,309	( 136 ) 1,126	( 1,853 ) 3,435	118	
11月	27	90	315	448	15	0	15	16	0	16	( 2,070 ) 2,379	( 96 ) 289	( 2,166 ) 2,668	( 2,070 ) 2,633	( 96 ) 604	( 2,166 ) 3,237	119	
12月	24	69	87	200	40	86	126	74	0	74	( 1,686 ) 1,883	( 53 ) 158	( 1,739 ) 2,041	( 1,686 ) 2,179	( 53 ) 331	( 1,739 ) 2,510	104	
1月	24	69	88	171	7	0	7	37	0	37	( 106 ) 391	( 0 ) 52	( 106 ) 443	( 106 ) 587	( 0 ) 140	( 106 ) 727	30	
2月	27	246	165	326	24	0	24	95	0	95	( 1,215 ) 1,400	( 0 ) 37	( 1,215 ) 1,437	( 1,215 ) 1,844	( 0 ) 284	( 1,215 ) 2,128	78	
3月	29	159	31	318	337	101	438	167	0	167	( 1,917 ) 2,329	( 46 ) 134	( 1,963 ) 2,463	( 1,917 ) 3,279	( 46 ) 266	( 1,963 ) 3,545	122	
合計	330	3,280	1,778	6,072	751	294	1,045	932	38	970	( 16,387 ) 20,628	( 582 ) 1,769	( 16,969 ) 22,397	( 16,387 ) 29,649	( 582 ) 4,115	( 16,969 ) 33,764	102	
補足 説明																		

( ) は入館料減免者で内数である。

(3) 事業内容

ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型 ・機器	計
自然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	826	79	905
美術	482	0	482
合計	3,518	94	3,612

(ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

(イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近世までの生活様式の移り変わりや、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるように、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用具、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

## (ウ) 美術常設展示室 (1階260㎡)

事業名	会期	内容
コレクション展Ⅰ 「民藝運動とのかかわりのなかで — リーチ、濱田、岡村、生田を中心に —」	4月5日～5月21日	時代やジャンルは異なるものの、どこかに共通点がある作家二名を選び、対比的に展示することで、それぞれの作家の特質を浮かび上がらせることに主眼を置いた展示「クロッシング!」を6期に分けて開催した。
コレクション展Ⅱ 「クロッシング!Ⅰ 土方稲嶺×辻晉堂」	5月24日～7月17日	
コレクション展Ⅲ 「クロッシング!Ⅱ 物部隆一×瀬戸浩」	7月20日～9月12日	
コレクション展Ⅳ 「クロッシング!Ⅲ 國領経郎×杵島隆」	9月15日～10月29日	
コレクション展Ⅴ 「クロッシング!Ⅳ 伊谷賢蔵×尾崎悌之助」	11月1日～12月17日	
コレクション展Ⅵ 「クロッシング!Ⅴ 根本幽峨×菅楯彦」	12月20日～2月12日	
コレクション展Ⅶ 「クロッシング!Ⅵ 前田寛治×植田正治」	2月15日～4月10日	

## (エ) 近代美術展示室 (2階374㎡)

事業名	会期	内容
テーマ展示Ⅰ 「Art Diving!」	7月15日～8月27日	子どもたちを主な対象とする展示として、「作品に潜り込むような鑑賞」をキーワードに、会場を数カ所のブースに分け、それぞれの作品を体験的に鑑賞するような展覧会を開催した。
テーマ展示Ⅱ 「鳥取藩と絵師たち」	10月5日～11月12日	企画展「池田光政」に併せ、戦国時代から幕末までの約300年間における、藩主などの為政者を中心とした鳥取の美術の流れを紹介した。
テーマ展示Ⅲ 「とっとり美術散歩Ⅰ 写真・版画編」	11月23日～1月8日	コレクションのなかから、各作家の特徴を端的にあらわす代表作や、ある時代の表現の傾向を如実に示す重要な作品などを選び、3期に分けて分野別に紹介した。
テーマ展示Ⅳ 「とっとり美術散歩Ⅱ 日本画・書・工芸編」	11月23日～12月24日	
テーマ展示Ⅴ 「とっとり美術散歩Ⅲ 油彩画・彫刻編」	2月17日～3月18日	

イ 特別展示

(平成30年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
水木しげる魂の漫画展	H29. 2. 19 ～ H29. 4. 2	ふるさと鳥取県の誇りである漫画家・水木しげるの多才な画業を振り返り、作品の魅力を確認・再発見する意義を持って開催した。	880	鳥取県 (観光交流局まんが王国官房) ※入館者数は4/1～4/2分 (期間中計7,419人)
「倉吉絣」 in ロシア ハバロフスク出展作品 帰国お披露目展	H29. 4. 7 ～ H29. 4. 16	第7回鳥取県文化デイズの一環として、平成28年9月から1ヵ月間、ロシアハバロフスク地方ハバロフスク市の極東国立美術館で「倉吉絣」の展覧会を開催した際のお披露目した。	662	個人
日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展	H29. 4. 15 ～ H29. 6. 4	鳥取県とゆかりの深い陶芸家バーナード・リーチの生誕130年の記念すべき年に、日本最大のリーチ・コレクションを誇る日本民藝館所蔵品の中から、リーチの最初期から晩年までの陶磁器を中心に約200点の作品や資料を一堂に紹介し、日本人に愛された英国人バーナード・リーチの芸術活動を振り返った。	6,037	
アートたけし展	H29. 4. 22 ～ H29. 5. 28	天才たけしの脳内に花火のように鮮やかにひらめいた素材、色彩豊かなアート作品の数々を展示紹介した。	14,838	株式会社 新日本海 新聞社
企画展「つばさの 博覧会 ―巨大翼 竜からペンギンま で―」	H29. 7. 15 ～ H29. 8. 27	空を飛ぶ能力を獲得した昆虫、翼竜、鳥、コウモリの4グループについて、「つばさ」の特徴や骨格の構造等を解説。各動物が進化の中で獲得した「空を飛ぶための工夫」や、鳥類については羽毛の進化と多様な機能についても紹介した。あわせて、鳥取県における鳥類の調査研究・保護活動を紹介した。	12,518	
第61回鳥取県美術 展覧会	H29. 9. 16 ～ H29. 9. 25	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	4,018	鳥取県 (文化政策課)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
鳥取入府400年 池田光政展～殿、 国替えにござりま す～	H29. 10. 7 ～ H29. 11. 12	017年（平成29）は、播州姫路42万石の城主池田光政（1609～82年）が国替えによって、因幡・伯耆の2国を合わせた32万石の藩主となった1617年（元和3）から400年に当たる。約100点余りの歴史資料を通じて、現在の鳥取藩（県）の骨格を作ったともいべき池田光政の足跡を紹介した。	4,005	
フジフィルム・ フォトコレクション 展	H29. 11. 23 ～ H29. 12. 24	富士フィルム株式会社が所蔵する日本を代表する101人の写真家が撮影した日本写真を語る上で欠かせない選りすぐりの1枚を集めたコレクションを紹介。写真を取り上げた企画展としては11年ぶりの開催。多くの写真家によって築き上げられた日本の写真史と写真界の発展の軌跡を辿る教科書的な展示を行った。また、鳥取県出身の塩谷定好、植田正治、田淵行雄、岩宮武二、杵島隆の作品も含まれており、彼らの表現の特質を、日本の写真史全体から俯瞰する機会となった。	2,961	
第15回鳥取県ジュ ニア美術展覧会	H30. 1. 13 ～ H30. 1. 21	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	1,963	鳥取県 (文化政策課)
モダンアート再訪ー ダリ、ウォーホルか ら草間彌生まで 福 岡市美術館コレク ション展	H30. 2. 3 ～ H30. 3. 18	21世紀に入り、20世紀の美術を再考すべき時機を迎えた現在、近現代美術の優品を所蔵する福岡市美術館のコレクションの中から選りすぐりの作品76点を紹介する展覧会を開催した。	5,693	
平木コレクション 歌川広重の世界ー 保永堂版東海道五 十三次と江戸の四 季ー	H30. 3. 31 ～ H30. 4. 30	歌川広重の代表作「東海道五十三次」全点と、最晩年の大作「名所江戸百景」などを平木コレクションの名品から公開した。	375	株式会社 新日本海 新聞社 ※入館者数 は3/31現在
合 計			53,950	

ウ 普及活動  
 (ア) 移動博物館  
 ● 自然人文合同部門

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
鳥取県西部に関わる明治・大正・昭和の広告と鳥取の化石	ヴィンステヒエブ	8月18日(金)～ 8月28日(月)		820
明治・大正・昭和の広告、鳥取の化石、鳥取県の希少な動植物	北条歴史民俗資料館	10月7日(土)～ 10月18日(水)		123
合 計 2 回				943

(イ) 移動美術館

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
鳥取県立博物館絵画コレクション展 異国の風景 光と風のきらめき	石谷家住宅	6月1日(木)～ 6月29日(木)		1,728
鳥取県立博物館絵画コレクション展 とっとり美術散歩-20世紀洋画編-	日南町美術館	9月24日(日)～ 10月8日(日)		503
合 計 2 回				2,231

(ウ) -① 学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然	教員免許更新講習	当館常設展示室		20
	学校内植栽樹木の教育利用相談	岩美町立岩美北小学校		3
	「白兎ふれあいの森」の教材開発(植栽可能な樹木の選定等)	鳥取県立白兎養護学校		3
美術	「旅ムサ スティ in 大山」作品展」展示指導	大山町公民館		6
	東部地区幼稚園教員、保育教諭、保育士等合同研修会	人材福祉センター		98
	〔「旅ムサ スティ in 大山」作品展〕展示指導	大山町公民館		6
	〔「旅ムサ スティ in 大山」作品展〕展示指導	大山町公民館		6
	八頭郡小学校教育研究会 音楽・図画工作研究部 夏季研修会	博物館会議室		20
	〔「旅ムサ スティ in 大山」作品展〕展示指導	大山町公民館		6
	〔「旅ムサ スティ in 大山」作品展〕展示指導	大山町公民館		6
	南部町立すみれ保育園 保育士研修会	南部町立すみれ保育園		15
	〔面影小学校 校内授業研究会〕指導助言	鳥取市立面影小学校		25
	〔面影小学校 図工部研修会〕講師	鳥取市立面影小学校		10
	鳥取市小教研図画工作部会授業研究会指導助言	鳥取市立美保小学校		20
	〔面影小学校 図工部授業研究会〕指導助言	面影小学校		12
	〔「旅ムサ スティ in 大山」作品展〕展示指導	大山町公民館		6
合 計 16 回				262

(ウ) -② 学芸員派遣

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数	
自然	オカヒジキ戻ってこいこいプロジェクト	岩美町熊井浜		28	
	NCNケーブルテレビ現地収録	岩美町熊井浜・東浜		2	
	「親子で楽しみながら虫とり競争」講師	若葉台小学校 わかばホールおよび校庭周辺		82	
	「昆虫の世界」講演会	鳥取市こども科学館		30	
	鹿野学講座「鹿野町の動物はすごい！」講師	鹿野町トレーニングセンター(鹿野地区公民館)		50	
	シカとわたしたち	渡辺美術館		25	35
	あっちこっちコウモリ!	渡辺美術館		25	25
	日本にも恐竜がいた!	渡辺美術館		25	45
	日本の恐竜について	湯梨浜町立図書館		15	9
	山歩き自然観察会	三朝町田代地区			10

	鳥取砂丘の自然(特に植物)について知識を広げる	鳥取砂丘	9月4日(月)		28
	小学校生活単元学習「めざせ! こんちゅうはかせ」講師	鳥取県立白兎養護学校	9月5日(火)	10	10
	ちびっ子砂丘レンジャーへの道	鳥取砂丘・多鶴ヶ池	9月10日(日)		41
	里地里山モニタリング調査講習会	なぎさ交流館(岩美町)	9月24日(日)	30	24
	ウスイロヒョウモンモドキ保全活動	鳥取市佐治町余土	10月15日(日)		36
	ちびっ子砂丘レンジャーへの道発表会	サンドバル	10月29日(日)		61
	講演「生物多様性の保全と私たちの暮らし」	鳥取市立中央図書館	11月5日(日)	20	11
	散策講座「春の庭～万葉の植物めぐり～」	因幡万葉歴史館	3月17日(土)	20	24
人文	古文書解説ボランティア東中西部例会	鳥取県立博物館、倉吉博物館、山陰歴史館ほか	毎月		266
	鳥取県中部地震と文化財レスキュー	倉吉市文化活動センター	5月28日(日)		20
	古文書を読む会	みささ図書館、倉吉博物館	6月13日(火)ほか3回		80
	米子人生大学講演「古文書に見る中世の西伯着」	米子市文化ホール	6月19日(月)		168
	縄文土器づくりと古代食体験	智頭町埋蔵文化財センター	7月27日(木)	30	23
	縄文土器づくりと古代食体験	智頭町埋蔵文化財センター	8月24日(木)・25日(金)	30	18
	講演「中世の戦乱に見る鳥取・岡山」	岡山県立博物館	8月26日(土)		46
	H29倉吉生涯学習講座「江戸時代 鳥取の温泉」	倉吉交流プラザ	9月16日(土)		50
	身近な歴史講座「幕末の泊—三枝真洞を中心に—」	泊公民館	10月18日(水)		40
	第9回日野町おしどり学園「鳥取県日野町の民俗」	日野町公民館	1月19日(金)		42
	木とねっこおさんぽ会「縄文の手形づくり」	みささ村公民館	2月8日(木)		26
美術	思索と表現	博物館会議室、博物館展示室	5月29日(月)		6
	【ワークショップ】「光る絵の具で宇宙をつくろう!」	境港市中浜公民館	8月2日(水)		40
	旅するムサビin大山「紙コップでArt」	大山町立中山みどりの森保育園	8月24日(木)		36
	コレクション宅配便	イオン鳥取店	8月29日(火)		73
	コレクション宅配便	溝口公民館	10月20日(金)		40
	コレクション宅配便	大山町立大山中学校	12月1日(金)		64
	コレクション宅配便	三朝西小学校	12月5日(火)		98
	コレクション宅配便	北栄町立北条小学校	12月8日(金)		71
	鳥取県ジュニア県展ギャラリートーク	米子市美術館	12月17日(日)		15
	コレクション宅配便	鳥取市立面影小学校	1月19日(金)		75
	コレクション宅配便	鳥取市立面影小学校	1月30日(火)		89
	【ワークショップ】【美和小学校 学童保育】	鳥取市立美和小学校	8月25日(木)		25
	湯梨浜町泊地域一人暮らし高齢者の集い】ワークショップ マグカップづくり	湯梨浜町保健福祉センター「つわぶき荘」	3月6日(火)		35
合 計 42 回					1,997

(エ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2017 in 鳥取県立博物館	県立博物館展示室・会議室・講堂	7月28日(金)		64
合 計 1 回				64

(オ) 普及講座・講演会

● サイエンスレクチャー

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
遺跡の鳥のサイエンス—鳥取市・青谷上寺地遺跡の骨からペルー・ナスカの地上絵まで—	博物館講堂	8月6日(日)	250	70
宇宙と深海とすごい生き物たち ～「はやぶさ」を見た! 深海へ行ってきた! 鳥取で大発見した!～	博物館講堂	9月16日(土)	250	70



## ● 自然部門

行事名	場所	期 日	定員	参加人数
鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」	樽谿公園～太閤ヶ平(鳥取市)	5月14日(日)	30	40
春の星を見る会	博物館前庭	5月14日(日)	なし	25
兵庫古生物研究会とのコラボ企画!「化石をさがせ!	若桜町春米	5月21日(日)	15	13
企画展ギャラリートーク「つばさの博覧会」	博物館展示室	7月16日(日)	なし	28
顕微鏡で楽しむミクロの世界	博物館会議室	7月22日(土)	30	25
夏の星を見る会	博物館前庭	7月329日(土)	なし	27
川原の石をしらべよう!	和奈見橋(用瀬町)周辺の川原、用瀬町中央公民館	7月30日(日)	20	19
「親子新聞教室」(企画展「つばさの博覧会」関連行事	博物館会議室	7月30日(日)	なし	23
さわってみよう! 鳥のホネ	博物館会議室	8月5日(土)	20	16
企画展ギャラリートーク「つばさの博覧会」	博物館展示室	8月13日(日)	なし	50
標本しらべ相談室	博物館会議室	8月19日(土)	なし	33
“浮かぶつばさ”をつくろう!	博物館会議室	8月20日(日)	20	44
秋のトンボをとろう!	とっとり出合いの森(鳥取市)	10月1日(日)	30	22
きのこを調べる会	大山・下山キャンプ場(大山町)	10月14日(土)	30	31
おちばの中のモンスターをさがそう!	とっとり出合いの森(鳥取市)	10月22日(日)	20	台風により中止
家族で楽しむ「しいのみさがし」と森の観察	樽谿公園(鳥取市)	11月3日(金・祝)	20	27
はじめてのバードウォッチング	湖山池青島(鳥取市)	11月25日(土)	20	18
化石レプリカをつくろう!	博物館会議室	11月26日(日)	20	20
鳥取県生物学会講演会	博物館講堂	12月2日(土)	250	52
合計 18 回				513

## ● 人文部門

行事名	場所	期 日	定員	参加人数
建武政権・初期南朝の軍事体制と名和長年	博物館会議室	4月8日(土)	20	28
古戦場・山城・荘園を歩く―岩井庄と道竹城―	博物館講堂	5月7日(日)	20	12
縄文土器形クッキー“ドッキー”をつくろう	博物館会議室	5月19日(金)	20	19
鳥取漆器・佐治漆の産業と流通の変遷	博物館講堂	6月10日(土)	20	16
三朝温泉鉄道敷設計画	博物館講堂	7月8日(土)	20	17
一日まるごと日本刀 (午前:刀剣講座、午後:小刀作り)	博物館会議室	7月23日(日)	20	55
縄文土器をつくろう	立川稲荷神社(鳥取市)	7月30日(日)	20	14
近世鳥取城下町のごみ問題について	博物館会議室	8月12日(土)	20	20
巻物を作ろう	博物館会議室	8月13日(日)	20	12
鳥取県の民話を聞く会	博物館歴史・民俗展示室 復元民家コーナー	8月20日(土)	40	34
戦時下、倉吉周辺の軍需工場について	博物館会議室	8月20日(土)	60	21
企画展「鳥取入府400年池田光政展」	博物館講堂	10月8日(日)	なし	58
池田光政という人物	博物館会議室	10月9日(月・祝)	230	90
考古資料からみた喫茶の開始と普及 ―鳥取の事例を中心に―	博物館会議室	10月14日(土)	20	15
池田光政の足跡をたずねて ①～袋川でぶらり～	博物館応接室、市内	10月15日(日)	10	雨天中止
池田光政の足跡をたずねて ②～鳥取城跡をぶらり～	博物館講堂	10月22日(日)	230	59
池田光政の足跡をたずねて ②～鳥取城跡をぶらり～	博物館講堂・鳥取城跡	10月29日(日)	10	21
応仁の乱と山名宗全	博物館講堂	11月3日(金)	250	77

鳥取城で鷹狩り！～諏訪流放鷹術の実演～	大山寺圓流院	11月5日(日)	なし	210
明治時代におけるシイラ漬漁をめぐる因但間の紛争	大山寺圓流院	11月11日(土)	20	13
古戦場・山城・荘園を歩く—久古御牧故地—	大山寺三宝荒神社跡	11月19日(日)	20	9
伯耆往来をあるく 下北条・由良	米子市立図書館研修室	11月26日(日)	20	21
若き黄檗僧、命の手紙	博物館会議室	12月9日(土)	20	12
鳥取県の民話を聞く会	湯梨浜町内	12月17日(日)	40	5
豊乗寺所蔵の元代水墨画について	博物館会議室	1月13日(土)	20	15
たこをつくってあげよう	博物館会議室	1月14日(日)	10	12
史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅰ)	博物館会議室	1月14日(日)	20	25
史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅱ)	博物館会議室	1月21日(日)	20	21
史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅲ)	博物館会議室	1月28日(日)	20	25
史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅰ)	博物館会議室	2月4日(日)	20	20
史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅱ)	博物館会議室	2月11日(日)	20	20
史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅲ)	まなびタウンとうはく	2月18日(日)	20	37
史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅳ)	まなびタウンとうはく	3月4日(日)	20	28
山陰の大名と鷹狩り	博物館歴史・民俗展示室 復元民家コーナー	3月1日(土)	20	22
鳥取城下絵図の魅力と可能性を探る	博物館会議室	3月18日(日)	230	56
鳥取県と太平記	博物館会議室	3月24日(土)	250	20
伯耆往来を歩く 由良・浦安	北栄町・琴浦町	3月25日(日)	20	20
合 計 37 回				1,159

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
よしみちアート&ちよこつとシアター「エリック・カールコレクションの上映と本のしおりをつくるワークショップ」	博物館講堂	4月1日(土)	なし	58
若冲と江戸絵画—伊藤若冲・みんなみんな生きている	博物館講堂	4月8日(土)	なし	27
リーチ作品の魅力語る～その思い出とともに	博物館講堂, 博物館展示室	4月15日(土)	250	118
バーナード・リーチの生涯と芸術	博物館講堂	4月22日(土)	250	115
バーナード・リーチ展夕暮れギャラリートーク	博物館展示室	4月28日(金)	なし	6
バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	4月29日(土)	なし	31
盲学校鑑賞体験「触れて鑑賞」	博物館会議室	5月2日(火)	なし	11
貴重なSPレコード音源と映像で楽しむ「Leach、河井寛次郎、濱田庄司、柳宗悦司会・座談会」	博物館展示室	5月6日(土)	250	56
バーナード・リーチ展夕暮れギャラリートーク	博物館展示室	5月12日(金)	なし	5
落書きばんざい!	博物館ホール・立体展示スペース	5月13日(土)	なし	38
バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	5月20日(土)	なし	31
バーナード・リーチ展夕暮れギャラリートーク	博物館展示室	5月26日(金)	なし	25
貴重なSPレコード音源と映像で楽しむ「Leach、河井寛次郎、濱田庄司、柳宗悦司会・座談会」	博物館講堂	5月27日(土)	250	86
バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	6月3日(土)	なし	32
つくって遊ぼう! 巨大なバルーン	博物館展示室	6月10日(土)	12	20
バンクシー・ダズ・ニューヨーク	博物館講堂	6月17日(土)	250	20
バンクシー・ダズ・ニューヨーク	博物館講堂	6月24日(土)	250	32
アトリエ探訪&ワークショップin琴浦	琴浦町	7月1日(土)	5	5
偉大なるオブセッションフランク・ロイド・ライト 建築と日本	博物館講堂	7月8日(土)	100	8
[スペシャルワークショップ]「光と影で風景をつくる」	博物館会議室	7月15日(土)	なし	24
「Art Diving!」アートダイビング!	博物館展示室	7月22日(土)	なし	6
[ワークショップ]「教員のための博物館の日!」	博物館会議室	8月28日(金)	なし	—

みんなでソウゾウ 絵画の中に入って見たら?	博物館会議室, 博物館展示室	7月29日(土)	40	12
〔ギャラリートーク〕【わくわく久松】テーマ展示「Art Diving!」	博物館展示室	8月4日(土)	なし	12
〔ワークショップ〕「泥でアート!」	博物館地下バックヤード	8月5日(土)	なし	67
素材のひろばで何つくろ?	博物館会議室	8月12日(土)	なし	64
ユーリー・ノルシュテイン監督特集上映 「アニメーションの神様、その美しき世界」	博物館講堂	8月19日(土)	250	86
「LISTEN リッスン」映画上映と関連ワークショップ	博物館講堂	8月26日(土)	250	62
LISTEN リッスン	博物館講堂	9月2日(土)	250	59
《アートセミナー》美術館とコレクション	博物館会議室	9月9日(土)	400	1
美術収蔵庫内での作品鑑賞	博物館収蔵庫	9月15日(金)	なし	7
粘土でアート!	博物館ホール・立体展示スペース	9月16日(土)	なし	62
アイリス・アプフェル94歳のニューヨーカー	博物館講堂	9月23日(土・祝)	250	55
郡家西小学校特別支援学級生徒に対するワークショップ	博物館会議室	9月26日(火)	なし	19
カメラをもってまちあるき@用瀬	県内	9月30日(土)	12	10
《ギャラリートーク》テーマ展示Ⅱ「鳥取藩と絵師たち」	博物館展示室	10月7日(土)	なし	23
《アートシアター》新日曜美術館シリーズ「狩野探幽 江戸の天才絵師」	博物館講堂	10月14日(土)	なし	16
《ワークショップ》まげわっぱづくりに挑戦!	鳥取聖学校木工室	10月21日(土)	なし	6
《2週連続スペシャルアートレクチャー(1)》美術と教育ー美術館の教育的役割を考える	博物館講堂	10月28日(土)	250	46
《2週連続スペシャルアートレクチャー(2)》大阪市の新しい美術館ー30年の経緯と開館に向けて	博物館講堂, 博物館会議室	11月4日(土)	40	34
《ギャラリートーク》テーマ展示Ⅱ「鳥取藩と絵師たち」	博物館ホール・立体展示スペース	11月11日(土)	なし	35
《ギャラリートーク》クロッシング! 伊谷賢蔵×尾崎悌之助	博物館展示室	11月18日(土)	なし	7
《企画展「フジフィルム・フォトコレクション展」関連特別講演会》絵になった写真、写真になった絵: 日本写真史とビクトリアリズム	博物館講堂, 博物館展示室	11月25日(土)	250	47
《ギャラリートーク》企画展「フジフィルム・フォトコレクション展」	博物館展示室	12月2日(土)	なし	37
《アートシアター》ヴィヴィアン・マイヤーを探して	博物館講堂	12月9日(土)	250	111
《ギャラリートーク》テーマ展示3 とっとり美術散歩 写真・版画	博物館展示室	12月16日(日)	なし	14
《アートシアター》「ウィリアム・エグルストン カラー写真をアートに高めた男」	博物館講堂	12月23日(土・祝)	250	18
《ギャラリートーク》テーマ展示Ⅳ とっとり美術散歩 日本画・書・工芸	博物館展示室	1月6日(土)	6	6
子ども向けワークショップ[2週連続]紙コップでアート!	博物館ホール・立体展示スペース	1月13日(土)	なし	30
子ども向けワークショップ[2週連続]紙コップでアート!	博物館ホール・立体展示スペース	1月20日(土)	なし	38
企画展関連 特別講演会Ⅰ福岡から再訪するモダンアート	博物館講堂	2月3日(土)	250	52
「モダンアート再訪」対話型鑑賞	博物館展示室	2月9日(金)	なし	45
企画展関連 トークセッション 自作を語る	博物館講堂	2月10日(土)	なし	48
企画展関連 ギャラリートークモダンアート再考ダリ、ウォーホルから草間彌生まで福岡市美術館コレクション展	博物館展示室	2月17日(土)	40	35
「モダンアート再訪」	博物館展示室	2月23日(金)	なし	14
企画展関連 アートセミナーモダンアートとその外部	博物館講堂	2月24日(土)	なし	30
企画展関連 アートセミナー社会とアートと近代(モダン)に	博物館会議室	3月3日(土)	なし	12
「モダンアート再訪」対話型鑑賞	博物館展示室	3月9日(金)	なし	29
企画展関連 特別講演会Ⅱ描かれた身体: 自分のからだ、他者のからだ	博物館会議室	3月10日(土)	なし	34
アートの種まきプロジェクト#1 ワークショップ見よう、知ろう、美術館のたつところ。ーまずは、「くらよし」を歩いてみようー	倉吉市	3月11日(土)	なし	26
企画展&テーマ展示 ギャラリートーク2 本立で ①モダンアート再訪 ダリ、ウォーホルから草間彌生まで福岡市美術館コレクション展 ②とっとり美術散歩 油彩画・彫刻	博物館展示室	3月17日(土)	なし	32
《ギャラリートーク》美術常設展示クロッシング! 前田寛治×植田正治	博物館展示室	3月24日(土)	なし	6
子どもも大人もワークショップらくがきばんざい!ーお花見弁当編ー	博物館講堂	3月31日(土)	なし	206
合計 63 回				2,307
総参加者数				9,616

エ 調査研究活動

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	縄文土器製作技術の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 池田光政に関する調査研究 鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究
民俗	鳥取県内の狛犬に関する調査研究 鳥取県内の神社寺の棟札に関する調査研究 大山の信仰に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 平成29年度企画展（「バーナード・リーチ展」「富士フィルム・フォトコレクション展」「福岡市美術館コレクション展」等）および平成30年度企画展（「土方稲嶺展」「ミュージアムとの創造的対話 vol.2」「Our Collections展」）に関する調査
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

2.8 博物館資料保有状況

(単位：点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購入	寄贈	採集	保管換	分類換		
地学	6,874		1,244					8,118
動物	26,406							26,406
植物	46,702		159	40				46,901
歴史	54,010		1,030					55,040
近現代資料	4,635	7	2,793					7,435
民俗	3,582	10	143					3,735
考古	8,200		72					8,272
美術	8,864							8,864
合計	159,273	17	5,441	40	0	0	0	164,771